



社会福祉法人青森社会福祉振興団

まるめろ通信

【まるめろ通信 / 第 173 号】

特養 みちのく荘 0175(23)1600
特養 金谷みちのく荘 0175(23)0781
みちのくクリニック 0175(23)1171
特養 まるめろ 022(797)0273



特集 法人設立50周年を迎えて

理事長 中山辰巳

このたび、社会福祉法人 青森社会福祉振興団(みちのく荘)は、創立50周年という大きな節目を迎えることができました。

1975年(昭和50年)、むつ市城ヶ沢に「特別養護老人ホームみちのく荘」を開設して以来、地域の皆様に支えられながら、高齢者福祉を中心とした事業に取り組み、今日まで歩み続けてまいりました。

これまで法人を支えてくださった利用者の皆様、ご家族、地域の皆様、関係機関の皆様、そして日々現場を支える職員一人ひとりに、心より感謝申し上げます。



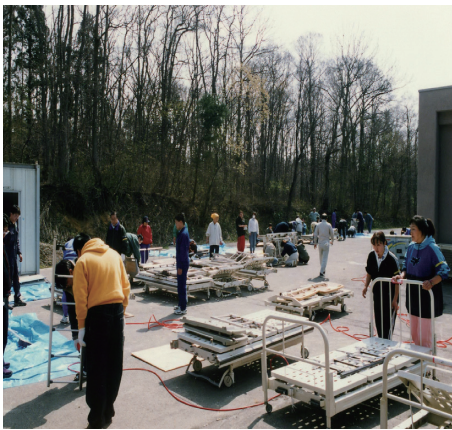
▲花壇の花を見ながら日向ぼっこ(設立当時の施設)

の事務長から「私たちは一分一秒を惜しんで仕事をしている。同じ介護のプロとは思えない」と厳しい言葉をいただいたのです。

帰りの船の中で反省会をし、職員同士で真剣に話し合いました。「職員本位ではなく、利用者本位の介護を目指そう」と心をつにしました。この出来事をきっかけに、法人ではQC活動に取り組み、介護サービスの質の向上に力を注いでいきました。より良い介護を目指し、一人ひとりの利用者に向き合う姿勢は、今も法人の原点として受け継がれています。

1989年(平成元年)には、ヘルパー事業を開始し、翌1990年(平成2年)には、訪問入浴を全国で最初の通年稼働をしました。その後も、デイサービス、ショートステイなど在宅サービス事業を広げ、住み慣れた地域で暮らし続けられる支援に力を入れてきました。

さらに、地域の住民が相談しやすい場所を目指し、むつ病院向かいに「介護相談センター」を設立。事業の拡大に伴い、2002年(平成14年)には城ヶ沢からむつ市十二林へ移転しました。



▲移転は2日間にわたって行われました。

移転は2日間にわたり、入居者60名と、入居者の生活を支えるベッドや車いすなど、多くの荷物を運ぶ大掛かりな作業となりましたが、取引業者の皆様や地域の方々など、約170名がボランティアとして協力

してくださいました。多くの支えのおかげで、ベッドの清掃作業や搬送作業も驚くほどスムーズに進み、無事に新しい施設へ移転することができました。

また、この移転を機に「ユニットケア」を導入しました。施設の中を小規模な生活単位に分け、利用者とケアワーカーが家庭的な雰囲気の中で生活を共にする介護スタイルです。法人理念である「人、ひとりひとりの心地良さ」を追求し、創意と工夫、努力と情熱を持ち、一人ひとりの思いを大切にし、その人らしい暮らしを続けられるよう努めてまいりました。

このように当法人は、特別養護老人ホームの運営から始まり、在宅サービスへと事業を広げながら、その時代に求められる福祉の形を追い続けてきました。

また、少子高齢化による人材不足を見据え、早い段階から海外人材の受け入れやICT、介護ロボットの導入にも取り組んでいます。

50年という歴史は、多くの出会いと支えの積み重ねによって築かれてきたものです。そして、その歩みは今もなお続いていきます。

これからも地域に必要とされる法人として、「安心して暮らせる地域づくり」に貢献し、次の50年へ向けて歩みを進めてまいります。



▲施設のイベントで利用者も楽しんでいます。

50周年 特別企画 法人の歩み

事業編

法人の50年の事業の軌跡を一覧にしました。

厚生省より法人設立認可

特別養護老人ホームみちのく荘開設 定員50名(むつ市城ヶ沢)

定員一割増員 定員55名へ

通所入浴サービス事業(ミニデイサービス事業 開始(むつ市城ヶ沢)

1989年 家庭奉仕員派遣事業(ヘルパー) 開始(むつ市城ヶ沢)

1990年 訪問入浴事業開始(むつ市城ヶ沢)

1992年 みちのくデイサービスセンター開設(むつ市城ヶ沢)

1993年 ショートステイ専用棟開設 定員20名(むつ市城ヶ沢)

1994年 契約制特別養護老人ホーム「エトランデル」開設 定員5名(むつ市城ヶ沢)

1995年 みちのく在宅介護支援センター開設(むつ市城ヶ沢)

1996年 みちのく荘介護相談センター開設(むつ市小川町)

1998年 身体障がい者ショートステイサービス事業開始(むつ市城ヶ沢)

1999年 ミドルステイサービス事業開始(むつ市城ヶ沢)

2000年 訪問入浴事業開始(川内町)

2001年 みちのく訪問看護ステーション開設(むつ市昭和町)

2002年 みちのく荘総合ケアセンター(居宅介護支援)開設(むつ市十二林)

2003年 いこいの里デイサービスセンター、在宅介護支援センター開設(脇野沢村)

2004年 ケアハウスみちのくグリーンリブ開設 定員20名(むつ市十二林)

2005年 グループホームまるめろ開設 定員9名(むつ市十二林)

2006年 みちのく中央デイサービスセンター開設(むつ市十二林)

2007年 特別養護老人ホームみちのく荘新築移転開設 定員60名(むつ市十二林)

2008年 特別養護老人ホームみちのく荘開設 定員30名、併設型ショートステイ 定員10名(脇野沢村)

2009年 みちのく荘柳町介護相談センター開設(むつ市柳町)

2010年 地域包括支援センターみちのく事業開始(むつ市十二林)

2011年 みちのく金谷総合ケアサービスセンター開設(むつ市金谷)

2012年 地域密着型特別養護老人ホーム金谷みちのく荘開設

2013年 定員29名、併設型ショートステイ 定員11名(むつ市金谷)

2014年 みちのく荘メデイカルケアセンター開設(みちのくクリニック、みちのくハビリテーションセンター、みちのく訪問看護ステーション)(むつ市十二林)

2015年 みちのく十二林単独型ショートステイ開設 定員30名(むつ市十二林)

2016年 みちのく訪問リハビリテーションセンター開設(むつ市十二林)

2017年 まるめろ美術館・関野準一郎記念館開設(むつ市十二林)

2018年 みちのく城ヶ沢フードセンター(真空調理工場)開設(むつ市城ヶ沢)

2019年 ベトナム・フエ工科大学との人材育成協働事業締結 社会人コース(ベトナム・フエ市)

2020年 みちのくデイケアセンター(日型)開設(むつ市十二林)

2021年 ベトナム・フエ工科大学との介護人材育成及び高齢者施設運営協働事業締結(ベトナム・フエ市)

2022年 みちのく金谷リハビリテーションセンター開設(むつ市金谷)

2023年 特別養護老人ホームまるめろ開設 定員80名(仙台南)

ベトナム・国立フエ中央病院まるめろ式高齢者介護ホーム開設(ベトナム・フエ市)

やさしい街づくりを応援しています。



特定技能職員の受け入れを行いました！

2026年5月、インドネシアから2名の特定技能生(介護)が、宮城県仙台市の「特別養護老人ホームまるめろ」にやってきました。シエルリナ オクタヴィアニさん(通称・ヴィアさん 左)、メタ イエニ テレシンさん(通称・メタさん 右)

同施設では2024年からインドネシア人特定技能生2名が働いています。これから働く2人は、心強い先輩と共に日本語や介護技術を学んでいきます。



▲「頑張ります」と笑顔で意気込みを語りました。



世界に届け!!まるめろ式介護 双葉のベトナム日記

「ベトナム語上手だね!」

ベトナムに来て3年になりますが、現在もベトナム語の勉強は続けています。独学のため覚えるペースは決して速くありませんが、ベトナム語の本を単語の意味を調べながら読んで、ベトナム語技能検定試験の問題を解いてみたりして、日々少しずつ単語や表現を習得しています。

ベトナム語は発音が難しく、同じ言葉でも声の高さや抑揚によって意味が変わってきます。そのため、自分では正しく話したつもりでも、一度で伝わらないことがよくあります。それでも、利用者やその家族に分かる範囲のベトナム語を使って話しかけるようにしています。

そんな中、最近は利用者やその家族から「ベトナム語上手だね!」と言っているだけが増えってきました。実際にはまだ十分に話せるレベルではありませんが、その一言をいただくたびにとても嬉しく、勉強を続ける励みになっています。また、ベトナム語で話しかけると笑顔を見せてくださったり、会話が弾んだりすることも多く、言葉を通じて信頼関係が深まっていることを実感しています。

日常会話をベトナム語で不自由なくできるようになるには、まだまだ時間が掛かりそうです。

ただ、分からない言葉が出てきた時には、その場で教えていただくこともあります。利用者や家族の皆さんがゆっくり発音してくださったり、別の言葉で説明してくださったりする時間も、私にとって大切な学びの機会になっています。

しかし、利用者や家族とのコミュニケーションをより深める為にも、これから楽しみながらベトナム語に触れていきたいと思っています。



▲正しくベトナム語を話せていますか?と聞くと、たまに頷いてくれます。

ベトナムでの心温まる情報を、ホームページで見ることが出来ます。こちらから簡単アクセス!!



福祉の仕事『あれこれ』出張出前講座実施報告

2026年5月、むつ市立田名部中学校で開催された「福祉の仕事『あれこれ』出前講座」に、特別養護老人ホーム金谷みちのく荘から、介護職員2名(佐久間和華さん、佐々木未来さん)が参加し、福祉や介護についての講義を行いました。

講義では、介護職を目指したきっかけや自身の経験を交えながら、「介護の仕事」や「高齢者の特徴」について紹介しました。「認知症にはどんなイメージがありますか?」と生徒たちに問いかけると、多くの生徒が積極的に手を挙げて答え、福祉や介護の仕事への関心の高さがうかがえました。

また、高齢者への理解を深めてもらうため、高齢者疑似体験を実施しました。音が聞こえにくくなるイヤーマフや視界が見えづらくなるゴーグル、両手両足に重りを装着し、高齢者の身体の状態や動きにくさを体験してもらいました。さらに、車椅子体験も行い、高齢者や介護を必要とする方への理解を深めました。

今回の出前講座が、生徒たちにとって福祉や介護への理解を深め、将来の進路の一つとして福祉の仕事に興味を持つきっかけとなれば幸いです。



まるめろ食堂主催 ゴミ拾いボランティア みんなでまちをピカピカ大作戦! 作戦決行しました!



参加した子どもたちは、保護者、ボランティアの方々と共に時折水分補給をしながら町内を歩き、道端や公園周辺のゴミを丁寧に拾いました。ゴミを拾い終え、町をきれいにする取り組みの大切さを感じることができました。笑顔で終わりました。

2026年6月27日、「ファミリープラザまるめろ食堂」では、金谷地区会と協力のもと、ゴミ拾いボランティアを行いました。

前日までは不安の残る空模様でしたが、幸運にも当日は朝から良好な天候となり、ゴミ拾いを行うことができました。

今回は金谷の町内を回るコースとなります。スタンプラリーも同時開催しており、地区会、東京堂、第二田名部小学校、みちのく金谷デイスサービスセンターまるめろの四か所ですたンプがもらえます。

あなたのお悩み全部聞きます!

A I めろめろちゃん運用中!

青森社会福祉振興団では、介護現場で働く職員を支援するため、AIチャットボット「お助け!めろめろちゃん!」を開発・運用しています。

「お助け!めろめろちゃん!」は、介護職員が現場で抱きやすい不安や疑問、判断に迷う場面について、いつでも気軽に相談できる環境をつくりたいという想いから誕生しました。

介護の現場では、一人ひとりの利用者様に合わせた対応が求められます。経験の浅い職員はもちろん、ベテラン職員であっても、より良い介護を追求するために「この対応で良かったのだろうか」「別の方法はなかったのだろうか」と悩んだり、判断に迷う場面が少なくありません。そうした時に、一人で抱え込まず、考えを整理し、質の高いケアを実現するためのサポート役として活用できるのが「お助け!めろめろちゃん!」です。



お助け!めろめろちゃん!

作成者: 特養 まるめろ

現場で起きるお困り事を相談できるまるめろの樹の妖精です。

利用者様に「家に帰りたい」と泣かれたらどうしよう。

食事を全然食べてくれない時、パテランならどうする?

ケアを拒否された!無理強いせずに受けてもらうコツは?

「あなたじゃダメ、ベテランを呼んで」と言われてショック...心の持ち...

▲質問例からの質問の他、手入力で質問することも可能です。

回答のベースとなるのは、当法人独自の「まるめろ式介護」判断基準書です。そこには、創立から50年以上にわたり培われてきた介護実践の知恵と経験が息づいています。利用者様一人ひとりの暮らしに向き合う中で生まれた工夫や判断基準を体系化し、次世代へ受け継ぐためにまとめられたものであり、当法人が大切にしてきた介護の考え方や実践ノウハウが凝縮されています。

また、「お助け!めろめろちゃん!」は単に答えを示すだけではありません。相談者の不安な気持ちに寄り添いながら、具体的な声かけの例や考え方のヒントを提示し、現場で働く職員の学びと成長を支援します。24時間いつでも利用できるため、夜勤中や業務の合間など、必要な時に気軽に相談できることも大きな特徴です。

生成AIという新しい技術を活用しながらも、その根底にあるのは、50年以上にわたりむつの地域福祉を支え続ける中で培われてきた人の知恵と経験です。「お助け!めろめろちゃん!」は、当法人が受け継いできた介護の知見を次世代へつなぎ、職員一人ひとりの成長を支える新たな人材育成の取り組みです。

青森社会福祉振興団では、これからも介護の専門性と最新技術を融合させながら、職員が安心して働き続けられる環境づくりと、より質の高い介護サービスの提供に取り組んでまいります。

やさしい街づくりを応援しています。

〈技術に生きる〉
病院設備機器・研究設備機器

株式会社 **三井物産 医理科**
むつ営業所

〒035-0063 むつ市若松町2-54
TEL 0175(23)8760
FAX 0175(23)8761

お客様へエネルギーの創造と革新を提供し、経済・社会の発展に努めます。

ENEOSグローブエナジー株式会社
URL <http://eg-energy.jp/>

むつ支店: むつ市南赤川町10-27
TEL 0175-22-8320

快適な生活環境を目指して

谷川環境衛生開発株式会社
代表取締役 谷川 聡

営業項目

- ・浄化槽保守点検・浄化槽清掃
- ・グリーンストリップ清掃
- ・下水道管渠清掃・テレビカメラ調査
- ・一般廃棄物収集運搬
- ・下水道処理施設・集排水処理施設維持管理
- ・産業廃棄物収集運搬
- ・排水処理プラント維持管理
- ・排水管・排水機洗浄及び閉鎖清掃
- ・一般廃棄物最終処分場維持管理

創業 昭和44年1月
所在地 〒035-0051 青森県むつ市新町41番1号
TEL 0175-22-2659 FAX 0175-22-7783
フリーダイヤル 0120-12-2659
E-mail tanikawa@alpha.ocn.ne.jp

岩盤浴・もみほぐし・コラーゲンマシン etc...
こころ、からだ、ステキにすこやかに。

SAKURA mutsu plaza

岩盤浴＆リラクゼーション **さくらむつ店**
☎ 0175-23-8700
〒035-0054 青森県むつ市海老川町3-11
【営業時間】 9:30~12:00, 13:00~18:00
※窓口・電話受付...17:30まで
【定休日】 毎週水曜日・年末年始